

宇麻志摩治命孫君を以て膽野の獄として
十余年お戦ふ年報曰平記と云ふおまゝ又終る

神武帝うち孫あふあに長髓彦といふ若
帝の兄を討つるあは討誅せしむる被り
兄安日い東国に追放せしめ津怪は臣
漢安東浦を以て
新明帝の神宇に蝦夷
人日本に襲来るに帝王安倍比羅志を新明
記に
戦後阿倍臣
比羅志とあり將軍として治めしむといふ
あ利を失へりけし安日り末葉に安東と
いふもの比羅志は陳あは来り告曰我は是

安日り末葉あなり漢書安日 神武帝の治
勅を蒙りてより今に到るを赦免なり
いふは先祖の罪を許されて先祖とあは
は蝦夷を討退べりと云ふ比羅志安東の
功を賞し安倍氏を以て同姓とせしむ
安東安倍氏号し始祖の名はあて安日
は書し後蝦夷又乱を起せしに安東り末
孫被東是をうち討むる貴とて將軍の
号を以て 一東院の神宇に蝦夷襲来を
しを被東り末葉は東松前より上及下